

科目名	大学英語へのステップ I	
担当者	酒瀬川 純行 / SAKASEGAWA, Sumiyuki	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	英文の基本構造に留意しながら毎時間自由英作文、英会話表現修得に取り組み、又、簡単な英字新聞記事を読みます。
	到達目標	英語の基本構造を理解し、基礎的な英語で読み、書きができるようにする。
授業計画	(1) Composition, newspaper article, and prints. (2) Composition, newspaper article, and prints. (3) Composition, newspaper article, and prints. (4) Composition, newspaper article, and prints. (5) Composition, newspaper article, and prints. (6) Composition, newspaper article, and prints. (7) Composition, newspaper article, and prints. (8) Composition, newspaper article, and prints. (9) Composition, newspaper article, and prints. (10) Composition, newspaper article, and prints. (11) Composition, newspaper article, and prints. (12) Composition, newspaper article, and prints. (13) Composition, newspaper article, and prints. (14) Composition, newspaper article, and prints. (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	毎回出される自由英作文をタイプアップしておく。
	事後学習	英字新聞、自由英作文、配布プリントをとおして習った単語や、表現を復習し整理する。
使用教材・参考文献	使用教材	BBC News, 担当者作成プリント
	参考文献	S Sakasegawa : Companion to Practical English. Seizannsha 2000 ISBN 4-88359-041-0
成績評価の基準と方法	基準	英語の基本構造を習得し、英語で簡単な日常会話や自己表現ができるようになったものは合格とする。
	方法	授業中の発表、コンツリビューション 50%、終了試験 50%。
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	大学英語へのステップ I	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	歌詞、詩、児童文学作品、英字新聞やエッセイ、海外 CM や洋画を通して、様々な英語表現を学ぶ。また、基本的な文法、英語のことわざ、カタカナ英語、日常英会話等も扱う。
	到達目標	英語独自の表現を学ぶことで、文化・思想の相違を理解する。 英語の面白さと利便性を知ること为目标とする。
授業計画	(1) 講義内容の説明 (2) 詩 / 文法①：詩に関連する文法事項 (3) 詩 / 文法②：詩に関連する文法事項 (4) 英字新聞・エッセイ / 文法③：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (5) 歌詞 / 文法④：歌詞に関連する文法事項 (6) 歌詞 / 文法⑤：歌詞に関連する文法事項 (7) 英字新聞・エッセイ / 文法⑥：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (8) 児童文学作品 / 文法⑦：作品に関連する文法事項 (9) 児童文学作品 / 文法⑧：作品に関連する文法事項 (10) 英字新聞・エッセイ / 文法⑨：英字新聞またはエッセイに関連する文法事項 (11) 海外 CM / 文法⑩：海外 CM に関連する文法事項 (12) 海外 CM / 文法⑪：海外 CM に関連する文法事項 (13) 洋画 / 文法⑫：映画に関連する文法事項 (14) 洋画 / 文法⑬：映画に関連する文法事項 (15) 総まとめ・予備日 ※テーマの順番が変更される可能性があります。	
自学自習	事前学習	・使用教材を事前に予習しておくこと。 ・意味の分からない用語は事前に辞書で調べておくこと。
	事後学習	・各テーマ終了時に実施する小テストの準備。 ・授業の内容を振り返り、配布物、ノートを整理、提出物の準備。
使用教材・参考文献	使用教材	教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリント（ハンドアウト）を用いる。
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	英語独自の表現を学ぶことで、文化・思想の相違を理解した者を合格とする。
	方法	受講態度 20% 小テスト 15% 提出物 15% 最終テスト 50%
備考	本授業は英語を基礎から少しでも理解したいと前向きに取り組む姿勢を期待する。毎回、英和・和英辞書を持参すること。講義と評価方法の詳細については、初回の授業で説明する。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	大学英語へのステップⅡ	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	英語の利便性、面白さ、魅力、または基本的構造を、再度考えて
	到達目標	英語発音について学び、具体的に音が出せるようになる。 英語発音について学び、具体的に英語音を聞き分ける。 8品詞、5文型を学び、丁寧に英文を読めるようになる。 8品詞、5文型を学び、正確に英文を書けるようになる。
授業計画	(1) be 動詞 (2) 一般動詞（現在） (3) 一般動詞（過去） (4) 進行形 (5) 未来形 (6) 助動詞 (7) 名詞・冠詞 (8) 関係代名詞 (9) 形容詞 (10)前置詞 (11)比較 (12)完了形 (13)不定形 (14)仮定法 (15)総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	品詞に関する課題を毎週、提出
使用教材・参考文献	使用教材	『イソップ物語』IBC パブリッシング 2005年 ISBN978-4-89684-081-0
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	8品詞、5文型が修得できたものを合格とする。
	方法	Class Participation 50%, Homework 25%, Final 25%
備考	毎回の出席を心がけて下さい。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	大学英語へのステップⅡ	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	「国際人」になる為にはまず、自国のこと、自分自身のことを知る所から始まる。この授業では外国の方にどのように日本文化、日本人について伝えるか考える。また、英文法、英字新聞、物語、日常英会話、カタカナ英語、イディオム等を扱う。 ※平成 26 年度の日本文化テーマ：お弁当、折り紙、落語、お正月等
	到達目標	日本文化、日本人を再認識し、英語で外国の方に日本について説明できるようになる。また、英語に関心を持ってもらうことを目標とする。
授業計画	(1) 講義内容の説明 (2) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (3) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (4) 日本文化① / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (5) 英字新聞・物語 / 文法：新聞記事、物語関連の文法項目 / 小テスト (6) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (7) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (8) 日本文化② / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (9) 英字新聞・物語 / 文法：新聞記事、物語関連の文法項目 / 小テスト (10) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (11) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (12) 日本文化③ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (13) 日本文化④ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 / 小テスト (14) 日本文化④ / 文法：テーマ資料関連の文法項目 (15) 英字新聞・物語・総まとめ	
自学自習	事前学習	・使用教材を事前に予習。 ・意味の分からない用語は事前に辞書で調べておく。
	事後学習	・各テーマ終了時に実施する小テストの準備。 ・授業の内容を振り返り、配布物、ノートを整理、提出物の準備。
使用教材・参考文献	使用教材	教科書は指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	日本文化を英語で表現できるものを合格とする。
	方法	受講態度 20% 提出物 15% 小テスト 15% 終了試験 50%
備考	本講義は英語を基礎から少しでも理解したいと前向きに取り組む姿勢を期待する。毎回、英和・和英辞書を持参すること。講義と評価方法の詳細については、初回の授業で説明する。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (人関A)	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	-	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire students to consider international issues. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Phonemic chart / tongue twisters. (4) Crossword / song (5) Newspaper game (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) BBC.COM (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Interview I. (12) Reading comprehension. (13) Listening practice. (14) Interview II (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	担当者作成資料
	参考文献	Inside English - Maggs - Macmillan Languagehouse ほか
成績評価の基準と方法	基準	授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。
	方法	授業中の発表、コントリビューション 50% 試験 50%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (人関B)	
担当者	スコット・バーンズ / Scott Burns	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	-	
科目概要	授業内容	ゲームや会話を通じ、自分自身を表現する演習を行う
	到達目標	英語表現の上達と使える英語を習得し、外国人に臆することなく話せるようになることを目標とする
授業計画	(1) 自己紹介 (学生、講師) (2) Treasure Hunt (3) Talkopoly Game (4) Talk a Lot 2 第2課 (5) Talk a Lot 2 第2課 (6) Talk a Lot 2 第3課 (7) Talk a Lot 2 第3課 小テスト (8) Talk a Lot 2 第4課 (9) Talk a Lot 2 第4課 (10) Talk a Lot 2 第5課 (11) Talk a Lot 2 第5課 小テスト (12) 復習 1 (13) 復習 2 (14) 復習 3 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・課題をこなす ・TV、CD等、何でもいいので英語を聴くこと。
使用教材・参考文献	使用教材	Talk a Lot 2
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	出席率、授業への取り組み、試験
	方法	なし
備考	臆することなく、楽しく英語を学びましょう。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (人関C)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を理解し、実践する。英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。タブレット等を利用し、効果的に学習する。グループで協働して学習する。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Conversation (1) (3) Conversation (2) (4) Conversation (3) (5) Conversation (4) (6) Conversation (5) (7) Cartoon (1) (8) Cartoon (2) (9) Cartoon (3) (10) Cartoon (4) (11) Show and Tell (1) (12) Show and Tell (2) (13) Show and Tell (3) (14) Show and Tell (4) (15) Reflection	
自学自習	事前学習	・指示された課題を行うこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	使用教材	教科書は使用しない。適宜プリント等を配布。
	参考文献	辞書
成績評価の基準と方法	基準	課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。
	方法	課題 70%、受講態度ほか 30%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (人関 D)	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 1 年次	
	—	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6 行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	使用教材	リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008 年 ISBN978-4-537-20654-8
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。
	方法	Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (法A)	
担当者	徳重 靖子 / TOKUSHIGE, Yasuko	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	The Beatles を読み、関係する歌をCDで聴き、その内容を英語で楽しみながら、特に素晴らしい表現は暗唱させ、英語に親しむように指導する。
	到達目標	優しい英語で書かれた物語であるので、多読、速読を目指す。
授業計画	(1) The Beatles の説明 (2) The Beatles を一回の授業で3ページを目標に読み進む。良い歌が出て来る時にはCDで聴く。 (3) " (4) " (5) " (6) " (7) " (8) " (9) " (10) " (11) " (12) " (13) " (14) " (15) 期末テストの質疑応答 暗唱が終わっていない人は終わらせる。	
自学自習	事前学習	・使用教材を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	毎時間内に終わらせられなかった暗唱を次回までに覚えておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	The Beatles Penguin Readers
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	課せられた暗唱を全部出来た人だけがテストを受ける資格があります。
	方法	期末テスト 80% 平常点 20%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (法B)	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6 行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	使用教材	リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。
	方法	Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 I (法C)	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	-	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities.リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire students to consider international issues. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Phonemic chart / tongue twisters. (4) Crossword / song (5) Newspaper game (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) BBC.COM (9) DVD and film review test. (10)DVD and film review test. (11)Interview I. (12)Reading comprehension. (13)Listening practice. (14)Interview II (15)総まとめ	
自学自習	事前学習	「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	担当者作成資料
	参考文献	Inside English - Maggs - Macmillan Languagehouse ほか
成績評価の基準と方法	基準	授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。
	方法	授業中の発表、コントリビューション 50% 試験 50%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（人関A）	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 出会ったときのあいさつ (2) 聞き返す (3) 相づちを打つ (4) おわびを言う/謝罪する (5) 確認する/念を押す (6) 予定・都合をたずねる (7) アウトドア (8) 希望を言う (9) 仕事 (10) 飲み物などをすすめる (11) 趣味 (12) 食べ物/グルメ (13) スポーツ (14) 映画 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	使用教材	リードくみ子、ウィリアム・リード 『そのまま使える日常英会話』 日本文芸社 2008年 ISBN978-4-537-20654-8
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。
	方法	Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（人関B）	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を理解し、実践する。英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。タブレット等を利用し、効果的に学習する。グループで協働して学習する。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Conversation (1) (3) Conversation (2) (4) Conversation (3) (5) Conversation (4) (6) Conversation (5) (7) Cartoon (1) (8) Cartoon (2) (9) Cartoon (3) (10)Cartoon (4) (11)Show and Tell (1) (12)Show and Tell (2) (13)Show and Tell (3) (14)Show and Tell (4) (15)Reflection	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	使用教材	教科書は使用しない。適宜プリント等を配布。
	参考文献	辞書
成績評価の基準と方法	基準	課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。
	方法	課題 70%、受講態度ほか 30%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（人関C）	
担当者	スコット・バーンズ / Scott Burns	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	ゲームや会話を通じ、自分自身を表現する演習を行う
	到達目標	英語表現の上達と使える英語を習得し、外国人に臆することなく話せるようになることを目標とする
授業計画	(1) 自己紹介（学生、講師） (2) Treasure Hunt (3) Talkopoly Game (4) Talk a Lot 1 第6課 (5) Talk a Lot 1 第6課 (6) Talk a Lot 1 第7課 (7) Talk a Lot 1 第7課 小テスト (8) Talk a Lot 1 第8課 (9) Talk a Lot 1 第8課 (10) Talk a Lot 1 第9課 (11) Talk a Lot 1 第9課 小テスト (12) 復習1 (13) 復習2 (14) 復習3 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・課題をこなす ・TV、CD等、何でもいいので英語を聴くこと。
使用教材・参考文献	使用教材	Talk a Lot 1
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	出席率、授業への取り組み、試験
	方法	なし
備考	臆することなく、楽しく英語を学びましょう。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（人関D）	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire the feeling of global citizenship. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Halloween. (4) Interview I. (5) DVD and film review test. (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) Interview II. (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Christmas. (12) Haiku. (13) Chimata no eigo (14) Exam preview test. (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	担当者作成資料
	参考文献	Moving on with English - Bray - Nan'un-do ほか
成績評価の基準と方法	基準	授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。
	方法	授業中の発表、コントリビューション 50% 試験 50%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（法A）	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	基本的な日常会話を理解し、実践する。英語の発音、リズムなどのポイントを学習する。タブレット等を利用し、効果的に学習する。グループで協働して学習する。
	到達目標	日常的なコミュニケーションを英語で行うことができる。
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Conversation (1) (3) Conversation (2) (4) Conversation (3) (5) Conversation (4) (6) Conversation (5) (7) Cartoon (1) (8) Cartoon (2) (9) Cartoon (3) (10)Cartoon (4) (11)Show and Tell (1) (12)Show and Tell (2) (13)Show and Tell (3) (14)Show and Tell (4) (15)Reflection	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・単語、重要表現等の復習を行うこと。
使用教材・参考文献	使用教材	教科書は使用しない。適宜プリント等を配布。
	参考文献	辞書
成績評価の基準と方法	基準	課題を通じて日常的なコミュニケーションを英語でとることができた者は合格とする。
	方法	課題 70%、受講態度ほか 30%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（法B）	
担当者	マーカス・シオボールド / Marcus Theobald	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	Reading, speaking, having fun with English through games and activities. リーディング、スピーキング、また英語を使ったゲームをして楽しむ。
	到達目標	To encourage students to enjoy studying English and inspire the feeling of global citizenship. 学生に国際問題を考え、また英語を学ぶことの楽しさを知ってもらう。
授業計画	(1) Teacher introduction. Country, culture, hobbies, music. (2) Campus treasure hunt. (3) Halloween. (4) Interview I. (5) DVD and film review test. (6) DVD and film review test. (7) Mid-semester review test. (8) Interview II. (9) DVD and film review test. (10) DVD and film review test. (11) Christmas. (12) Haiku. (13) Chimata no eigo (14) Exam preview test. (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	授業の内容を復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	担当者作成資料
	参考文献	Moving on with English - Bray - Nan'un-do ほか
成績評価の基準と方法	基準	授業時の活動への参加と、課題に合格することを単位取得の条件とする。
	方法	授業中の発表、コントリビューション 50% 試験 50%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語Ⅱ（法C）	
担当者	蒲地 賢一郎 / KAMACHI, Kenichiro	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 1年次	
	—	
科目概要	授業内容	大きい声で、人の前で英語を話す授業です。毎週、5, 6行の英会話文を暗記し、その実演をします。
	到達目標	日本語音と英語音との微妙な差異に違いについて学び、その違いが自分で音として出せるようになる。
授業計画	(1) 名前や出身地を聞く (2) 謝る (3) 依頼する (4) 誘う (5) お祝いを言う (6) 上手に断る (7) 四季 (8) 程度の表現 (9) バスに乗る (10) 値段を聞く (11) おすすめの店を聞く (12) 電話をかける (13) 店の場所を聞く (14) 使い方を聞く (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない単語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	英語音に関する聴き取りの課題を毎週おこなう。
使用教材・参考文献	使用教材	はじめての日常英会話 古藤晃 西東社 ISBN978-4-7916-2164-4
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	日・英語の微妙な音の違いを自分で音として出せることを合格とする。
	方法	Dialogue 25%, Extension 25%, Homework 25%, Final 25%
備考	毎回の出席を心掛けてください。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語A (TOEIC I)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	本科目では、実際に TOEIC の練習問題を解きながら、TOEIC の解き方のポイントや重要な文法、語句について学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのレベルに合わせて TOEIC の得点を高める。</li> <li>TOEIC の出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得する。</li> </ul>
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Chapter 1: Job Hunting (3) Chapter 2: Boyfriend's Birthday (4) Chapter 3: Giving a Presentation (5) Chapter 4: Trip to Phuket in Thailand (6) Chapter 5: New Distribution Channel (7) Chapter 6: A Letter to Father (8) Chapter 7: Board Meeting (9) Chapter 8: Traffic Accident (10) Chapter 9: Business Trip Abroad (11) Chapter 10: Miraculous Recovery (12) Chapter 11: President's Decision (13) Chapter 12: Proposal (14) Chapter 13: Getting a Promotion (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	使用教材	石井隆之ほか著 「CD 付 ストーリーで学ぶ TOEIC = TEST ビギナーズ (ENJOY PRACTICING FOR THE TOEIC TEST)」 三修社 2012年 ISBN:978-4-384-33421-0 C1082
	参考文献	英語の辞書
成績評価の基準と方法	基準	TOEIC の出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得した者は合格とする。
	方法	期末試験 50%、受講態度 20%、課題ほか 30%
備考	予習、復習をしっかりとすること。辞書を毎回必ず持ってくること。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語A (TOEIC I)	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	テキストと演習問題を通して、TOEIC のリーディングとリスニングの各セクションの攻略ポイントを学ぶ。また、ディクテーション、音読とシャドーイングを毎回の講義に取り入れ、リスニング能力の強化を図る。
	到達目標	TOEIC の問題の攻略ポイントを習得し、本番でのペース配分を身に付けられるようにする。また、リスニング力、単語力、熟語と文法力を身に付け、各々の TOEIC スコアを上げる。
授業計画	(1) 講義内容と TOEIC の説明・Introduction (2) Unit 1: Daily Life (3) Unit 2: Eating Out & Leisure Activities (4) Unit 3: Cooking & Purchasing (5) Unit 4: Traffic & Travel (6) Unit 5: Advertising & ICT (7) Unit 6: Production & Logistics (8) TOEIC 演習問題 (9) Unit 7: Business & Economics (10)Unit 8: Employment & Personnel (11)Unit 9: Office Work & Correspondence (12)Unit 10: Health & Environment (13)Unit 11: Finance & Banking (14)Unit 12: Law & Administration (15)まとめ	
自学自習	事前学習	・指定箇所の予習。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	リスニング問題の CD を何度も聞くこと。Reading section は定期的に小テストを行うため、復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	安丸雅子・砂川典子・秋好礼子・十時康・渡邊晶子・Andrew Zitzmann SEIZE THE CORE OF THE TOEIC TEST TOEIC テスト コアをつかんで完全攻略 2015 年 金聖堂 ISBN 978-4-7647-4004-4 C1082
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	積極的に受講し、リスニング力強化に努め、TOEIC の演習問題で扱われた単語、熟語、文法を理解したものは合格とする。
	方法	受講態度 15% 小テスト・提出物 35% 筆記試験 50%
備考	毎回、英和辞書を持参するように。講義内容と評価方法については初回の講義で説明する。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 B (TOEIC II)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 2 年次	
	—	
科目概要	授業内容	本科目では、実際に TOEIC の練習問題を解きながら、TOEIC の解き方のポイントや重要な文法、語句について学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのレベルに合わせて TOEIC の得点を高める。</li> <li>TOEIC の出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得する。</li> </ul>
授業計画	(1) 授業概要説明 (2) Lessons 1-2 (3) Lessons 3-4 (4) Lessons 5-6 (5) Lessons 7-8 (6) Lessons 9-10 (7) Lessons 11-12 (8) Lessons 13-14 (9) Lessons 15-16 (10) Lessons 17-18 (11) Lessons 19-20 (12) Lessons 21-22 (13) Lessons 23-24 (14) 総まとめ(1) (15) 総まとめ(2)	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	使用教材	Donald Beaver ほか著 「新 TOEIC テスト・ナビゲーター - Navigator for the TOEIC Test <Newly Updated Edition>」 2013 年 南雲堂 ISBN: 978-4-523-17723-4 C0082
	参考文献	英語の辞書
成績評価の基準と方法	基準	TOEIC の出題パターンを理解し、最良の問題の解き方を習得した者は合格とする。
	方法	期末試験 50%、受講態度 20%、課題ほか 30%
備考	予習、復習をしっかりとすること。辞書を毎回必ず持ってくること。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 B (TOEIC II)	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 後期 / 演習 / 2 単位 / 2 年次	
	—	
科目概要	授業内容	テキストと演習問題を通して、TOEIC のリーディングとリスニングの各セクションの攻略ポイントを学ぶ。また、ディクテーション、音読とシャドーイングを毎回の講義に取り入れ、リスニング能力の強化を図る。
	到達目標	TOEIC 問題の攻略ポイントを習得し、本番でのペース配分を身に付られるようにする。また、リスニング力、単語力、熟語と文法力を身に付け、各々の TOEIC スコアを上げる。
授業計画	(1) 講義内容と TOEIC について説明 ・Unit 1 Events (2) Unit 2 Eating Out (3) Unit 3 Shopping (4) Unit 4 Housing (5) Unit 5 Employment (6) Unit 6 Personnel (7) Unit 7 Office (8) Unit 8 Finance and Banking (9) Unit 9 Management (10)Unit 10 Transaction (11)Unit 11 Documents (12)Unit 12 Public Announcements (13)Unit 13 Commuting (14)Unit 14 Travel (15)Unit 15 News	
自学自習	事前学習	・指定箇所の予習。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	リスニング問題の CD を何度も聞くこと。Reading section は 定期的に小テストを行うため、復習しておくこと。
使用教材・参考文献	使用教材	Mark D. Stafford・妻鳥千鶴子 GEAR UP FOR THE TOEIC TEST ポイントで攻略する TOEIC テスト 2014 年 金星堂 ISBN 978-4-7647-3958-1 C1082
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	積極的に受講し、リスニング力強化に努め、TOEIC の演習問題で扱われた単語、熟語、文法を理解したものは合格とする。
	方法	受講態度 15%、小テスト・提出物 35%、筆記試験 50%
備考		

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語 C (ビジネス英語 I)	
担当者	入江 公啓 / IRIE, Kimihiro	
科目情報	外国語 (英語) / 選択 / 前期 / 演習 / 2 単位 / 2 年次	
	—	
科目概要	授業内容	本科目では、ビジネスで使われる英語を学習する。オフィスで交わされる会話や、ビジネス文書を題材にして、基本的な用語、言い回し、スタイルなどを学ぶ。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスで使われる基本的な用語、言い回しを使えるようになる。</li> <li>・ ビジネス文書の基本的なスタイルを学び、書けるようになる。</li> </ul>
授業計画	(1) 授業概要説目 (2) Lesson 1: job Hunting (3) Lesson 2: The First Day (4) Lesson 3: Writing Email (5) Lesson 4: Greeting a Visitor (6) Lesson 5: Explaining a Corporate Profile (7) Lesson 6: Deciding on a Date for a meeti (8) Lesson 7: Attending a Meeting (9) Lesson 8: Dealing with Complaints (10)Lesson 9: Getting Ready for an Overseas (11)Lesson 10: Gathering Information for a P (12)Lesson 11: Wrting a Presentation Draft (13)Lesson 12: Traveling Abroad for the Firs (14)Lesson 13: Giving a Presentation (15)総まとめ	
自学自習	事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。</li> <li>・ 意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。</li> </ul>
	事後学習	授業の初めに、前回の授業内容についてのクイズを行う。
使用教材・参考文献	使用教材	岡本真由美・中邑光男 『Make It in Business (ビジネス英語はじめの一步)』 センゲージ ラーニング株式会社 2010 年 ISBN: 978-4-86312-148-5
	参考文献	英語の辞書
成績評価の基準と方法	基準	ビジネスで使われる英語の基本的な用語、言い回し、スタイルを使えるようになった者は合格とする。
	方法	期末試験 50%、受講態度 20%、課題ほか 30%
備考	予習、復習をしっかりとすること。辞書を毎回必ず持ってくること。	

授業マトリクス上の位置づけ (科目が設置された学科、コースでの位置づけ)		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル

科目名	英語D（ビジネス英語Ⅱ）	
担当者	藏本 真衣 / KURAMOTO, Mai	
科目情報	外国語（英語） / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次	
	—	
科目概要	授業内容	テキストの実例文をもとにビジネスレター、Eメール、お礼・苦情等の社交の手紙、CV（履歴書）の書き方を学ぶ。また、ビジネスで使用する英会話を学ぶ。
	到達目標	基礎的なビジネスレター、Eメール、社交文、履歴書等に相応しい英語表現を学び、それぞれの目的に応じた文書を英語で書けるようになる。
授業計画	(1) Social letters, Business letters and E-m (2) Letter of Thanks (3) Letter for Application and CV (4) Passing on Information (5) Making a Request (6) Establishing a Business relationship (7) レターとEメールの表現法の違い・ネチケットについて (8) Introducing Yourself to a New Customer (9) Purchasing Products I (10) Purchasing Products II (11) Responding to an Inquiry (12) How to Sell a Product I・II・III (13) Asking for a Price Reduction (14) 困ったときのEメール表現表 (15) まとめ	
自学自習	事前学習	前回の講義を参考に、課題を作成し、タイプされたビジネスレターまたはビジネスメールを担当者に提出。次回の範囲の予習。
	事後学習	講義中の訂正を参考に、課題の清書版を作成する。 返却された訂正、アドバイス付き提出課題を熟読し、英語力を高める。
使用教材・参考文献	使用教材	松崎久純 『英文ビジネスレター&Eメールの正しい書き方』 2004年 研究社 ISBN 978-4-327-43053-5 C1082
	参考文献	なし
成績評価の基準と方法	基準	課題を提出し、基本的な英文ビジネスレターが書けるようになったものを合格とする。
	方法	受講態度 10%、提出物 50%、終了試験 40%
備考	基本的に、メールで課題提出をするため、使用可能なメールアドレスを準備するように。講義内容と評価方法については、初回の講義で説明する。	

授業マトリクス上の位置づけ（科目が設置された学科、コースでの位置づけ）		
教育課程の獲得目標	レベルに応じた到達目標	レベル